

『試験問題の点字表記 第2版』への断り書き

2021年10月

日本点字委員会

日本点字委員会では、2018年度以降、日本における各種の点字表記規則を改訂してきました。そして現在、試験問題の点字表記改訂の議論を開始しています。

しかし、改訂版発行までには、今しばらく時間が必要であり、当面の間、『試験問題の点字表記 第2版』（2007年発行）の販売を継続いたします。その際、点字受験者が不利益を被らないために、最新の点字表記規則を参照していただくことを目的として、この断り書きを作成しましたので、ご留意くださいますようお願いいたします。

1. 点字表記の基本原則

点字表記は、原則として次の表記法による。

- (1) 一般日本語表記は、『日本点字表記法 2018年版』（以下「表記法 2018年版」と略記）。
- (2) 古文表記は、「表記法 2018年版」第6章に、漢文表記は、同第7章。
- (3) 算数・数学・情報処理の表記は、『数学・情報処理点字表記解説 2019年版』（以下「数学 2019年版」と略記）（注1）。
- (4) 理科表記は、『理科点字表記解説 2019年版』（以下「理科 2019年版」と略記）（注1）。
- (5) 医学・医療関係試験（あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師試験等）の表記は「医学用語の点字表記 第2版」（2021年発行）。

※ (1)～(5)は、いずれも日本点字委員会発行。

- (6) 英語科の試験問題の英語表記は、原則として国際英語点字協議会（ICEB）が定める UEB: Unified English Braille Second Edition 2013 の最新の規則による（注2）。なお、後述の「2 英語の試験問題に UEB を用いる場合の注意」の諸点に留意されたい。
- (7) フランス語やドイツ語などの問題は、原則としてその国の表記法に従う。
- (8) 外国語科以外の試験問題に外国語が出てきた場合には、原則として「表記法 2018年版」4章6節2.により表記する。ただし、英語に限っては、大学生以上を対象とする外国語科以外の試験において、必要に応じ(6)により表記することができる。

2. 英語の試験問題に UEB を用いる場合の注意

「表記法 2018年版」4章6節3.の(1)～(3)の記号を用いることができる。

また、『試験問題の点字表記 第2版』の次の項目は読み替えが必要となる。

- (1) 第3指示符の変形について記述した1部1章5節1.(1)b.の後段と、1部2章2節2.を削除。
- (2) 英文中の仮名文字の記号に関する1部2章2節4.の記述は、記号を ⠠ ~ ⠡ で囲む「原則」のみを残し、「仮名にピリオドを付けるだけで用いてもよい」とする例外は、UEB中では仮名をアルファベットと誤読するおそれが高いため削除。
- (3) 英文中の注記号に関する1部2章2節5.の記述は、UEBの規則に従い、アスタリスク(*)を ⠠⠠ から ⠠⠠に変更。また、「注記号がダッシュを除く句読符の前にある場合には、句読符の後に書く」とする記述を削除。
- (4) コーテーションマークに関する1部2章2節6.の記述は、UEBの規則(2019年10月改訂)に従い、ダブルコーテーションマーク(“ ”)を ⠠⠠ ~ ⠠⠠、シングルコーテーションマーク(‘ ’)を ⠠⠠ ~ ⠠⠠で表すことと、文章全体にわたりダブルとシングルの点字記号を入れ替えることが許容される旨変更。
- (5) to, into, byの縮約(略字)の廃止に伴い、1部2章2節7.の一部と8.を削除。
- (6) 単語の一部に付された下線などに関する1部2章2節10.は、⠠ ~ ⠡ をナンバリングまたは日本語を囲むカッコとしたことに伴い、下線などを表す記号は ⠠ ~ ⠡のみとする旨変更。

【表記規則の移行に関する注記】

注1：視覚特別支援学校高等部の理数系科目の教科書への「数学 2019年版」「理科 2019年版」の新表記の導入は、学年進行で、1年生は2022年度から、2年生は2023年度から、3年生は2024年度から実施される予定である。よって、2021年度までに高校に入学した人たちが受ける校内試験等、および2024年4月入学までの大学等の入学試験においては、受験者が不利にならないよう、受験者が使用してきた点字教科書の表記に従うなど、点字問題の作成・答案の墨字訳の双方において十分な配慮が望まれる。

注2：視覚特別支援学校高等部の英語科教科書へのUEB導入は、学年進行で行われ、3年生は2019年度から実施された。このため、2019年3月までに高校を卒業した人たちのほとんどは、高校卒業までにUEBを習得する機会がなかったものと推測される。よって、おおむね2022年度までは、この世代の人たちが受験する各種試験においては、従前の旧アメリカ式表記EBAE: English Braille American Edition 2008による出題を受験者が選択できるような配慮が望まれる。

以上